

どの子ども安心して育つことのできる社会に向けて。

子ども一人ひとりの生命の大切さ、かけがえのなさをいつにも増して感じさせられた2011年も間もなく暮れようとしています。明けて2012年2月、私達フリースクール全国ネットワークでは、第4回Japan Democratic Education Conference(JDEC)を下記のように開催いたします。

子ども一人ひとりの生命に寄り添い、個性、感性、興味や思いを大切にした成長や学びを保障していくためにどうしたらいいのか—これは、子ども支援にかかわる人や保護者すべての方々の関心事であると思います。私達は、その子の最善の利益という視点に立つなら、多様な学びが保障される考え方や制度になってほしい、そしてどの子ども否定されることなく、安心して育つ社会になってほしい、との思いから活動してきました。

それを一歩すすめるために、今回のJDECでは、不登校・フリースクール関係者から枠を拡げ、シュタイナー教育やブラジル学校など日本の学校制度外で、子どもの育ちを実践していらっしゃる方々と共に考えあっていたい、ということになりました。

多くの方々のご参加で、充実した大会がもて、子どもの学ぶ権利が本当の意味で満たされる状況を創り出すための課題が共有できたら幸いです。このような集いは、日本初であると思います。お誘いあわせて、気楽にご参加下さいますようお願い申し上げます。

2011年12月 代表理事 奥地圭子 増田良枝

プログラム

● 2月4日(土)

13:00 受付開始

13:30 **PART 1** JDECフォーラム
開会あいさつ

■基調講演「日本の教育を〈学ぶ権利〉から捉えなおす」

講師：喜多明人（子どもの権利条約ネットワーク代表／早稲田大学教授）

子どもたちの個性は多様であり、既存の学校にあわない子ども、学校で傷ついた子ども、学校に行っていない自分の居場所がない子どもたちに対して、いかに自分らしく学び育つことができる場を社会として提供できるのかについて考えてみましょう。子ども一人ひとりを大切に考え、子どもたちの学ぶ権利を含む子どもの権利を学ぶことから、私たちができることについて深めあいましょう。

14:40 ■シンポジウム「多様な教育が未来をひらく—オルタナティブ教育の実践から—」

今、世界の中では、ナショナルカリキュラム(学習指導要領)の下で教育を行うレギュラースクール以外の学びが制度上に位置づけ、様々な発展しています。これらはオルタナティブ(もう1つの)教育と呼ばれ、日本においても多くの活動がされており、フリースクールも広い意味でその1つと位置づけることができます。そんな多様な教育の場とつながり、お互いに学ぶことで、フリースクールの可能性もより確かなものにできるのではないのでしょうか？子どもの多様な育ちを支えるために、考えあいましょう。

シンポジスト：増田良枝（フリースクール全国ネットワーク代表理事／越谷らるごフリースクールりんごの木理事長）

吉田敦彦（京田辺シュタイナー学校理事／大阪府立大学教授）

小貫大輔（チルドレン・リソース・インターナショナル運営委員／東海大学准教授）

ホームエデュケーション保護者（東京シューレ・ホームシューレ会員）

司会：奥地圭子（フリースクール全国ネットワーク代表理事／東京シューレ理事長）

※指定発言者として、その他のオルタナティブ教育関係者の皆様にもご発言頂きます。

17:00 **PART 2** 交流会

18:30 ■新法について

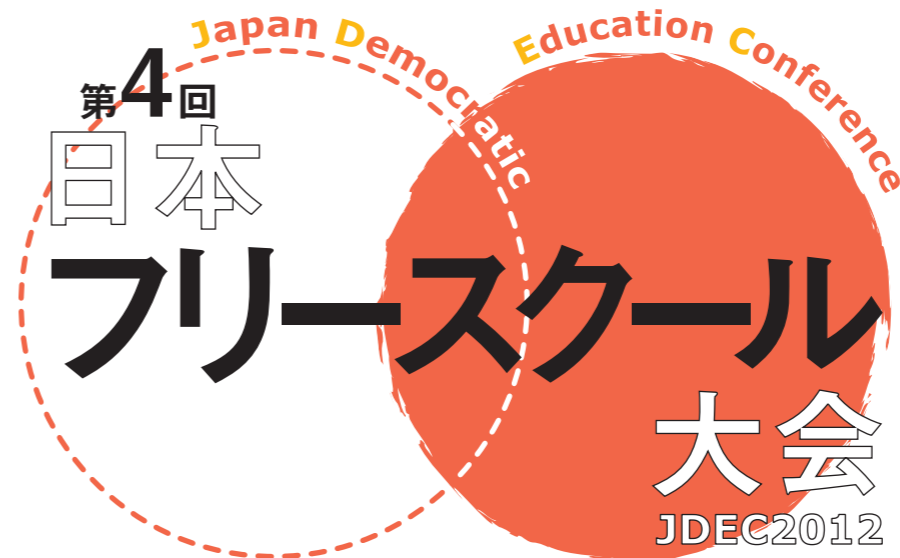
これまで2年間に渡って検討を重ねてきた(仮称)オルタナティブ教育法の検討、そして高校無償化に伴い16歳～18歳の子どもの家庭への特定扶養控除が縮小されたことによる格差の是正について、政策提言などの意見交換や情報交換を行います。

■懇親会

多くのフリースクールを含む今回の大会に集まった皆さんでざっくばらんに語りあいましょう。

※尚、宿泊の方は、宿泊棟の談話室などで引き続きじっくり語り明かすこともできます。

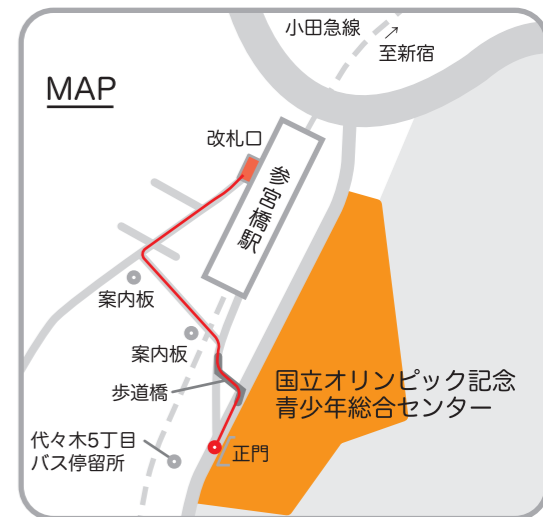
20:30



開催日 2012年2月4日(土)・2月5日(日)
会場 国立オリンピック記念青少年総合センター・センター棟
(東京都渋谷区代々木神園町3-1)

参加費 宿泊:12000円(3食付き) 日帰り:3000円/日
連絡先 TEL&FAX:03-5924-0525
E-mail:jdec@freeschoolnetwork.jp

主催 NPO法人フリースクール全国ネットワーク



アクセス：小田急線 参宮橋駅下車 徒歩約7分

■参加方法

フリースクール全国ネットワークのwebページから参加登録をしてください。

<http://www.freeschoolnetwork.jp/>

宿泊をご希望の方は、1月26日までに申し込みください。26日以降の申し込みは、お電話でお問い合わせください。空室が無くなる可能性がありますので、お早目にお申し込みください

● 2月5日(日)

9:15 **PART 3** テーマ別セッション

1：不登校とフリースクール

不登校を経験してフリースクールで育つ子どもの気持ちにどう寄り添い、また親とどう関わっていくべきでしょうか。また、学校や行政とのやり取りをどうしたらいいでしょうか。不登校を中心にさまざまな課題を考えていきます。

2：フリースクールと子どもの参画

フリースクールにとって、いかに子どもと共に創っていくかという事は重要な課題です。フリースクールのルールづくりや問題の解決、プログラムの決定などをどのように子どもとともに創り出すか。ミーティング・実行委員会のあり方なども含め、実例から考えあってみましょう。

3：オルタナティブ教育と新法

多様な実践が行われているオルタナティブ教育は、どのように社会的に認められ、制度的にも認められていくべきなのか、子どもをめぐる環境をどう整えていくべきか。(仮称)オルタナティブ教育法の実現がなされた場合、どう変わるのか、じっくり考えていきましょう。

4：フリースクールとコミュニティ

フリースクールが地域コミュニティの中で、いかにつながって活動していくかということは、フリースクールを維持・発展させていく上でも、地域が社会的に包摂を実現し、誰もが生きやすい社会を実現する上でも重要です。東日本大震災や韓国の実践を参考に、考えていきます。

5：困難な状況を抱えた子どもとの関わり

フリースクールに通ってくる子どもには、自己否定感の強い子ども、緊張が強い子ども、家族関係や文化的背景が複雑な子ども、発達障がいと言われる子どもなど、さまざまな子どもがいます。その受け入れと関わりを実例から学びあいます。

6：フリースクールの学び

フリースクールで子どもとともに活動や学びをどのようにつくっていくのか。スタッフや大人はどのように関わっていくのが良いのか。具体的な活動の事例などをもとにしながら議論を進めていきたいと思えます。

休憩

11:45

13:00

PART 4 シンポジウム「私たちはこの学びを選んだ—OB・OGによる体験談—」

フリースクールなどのオルタナティブな学びの場で育った人がどのように社会の中で生きているのか、オルタナティブ教育で育ったことを振り返ってどのように感じているのか。今後のオルタナティブ教育に対して、どんなことを期待しているのか。オルタナティブ教育出身者のシンポジウムを行い、オルタナティブな生き方についてより深めていきたいと思います。

14:40 **PART 5** JDECミーティング

それぞれのオルタナティブ教育やフリースクール全国ネットワークが取り組むべき課題の検討を、オルタナティブ教育法をめざす取り組みも含めて、意見交換し共有を図ります。

16:10

16:30

■エンディング